

GIGA スクール News



～すぐにでも どの教科でも 誰でも使える ICT をめざして～

たかが 1.3kg, されど 1.3kg? ～荷物持ち帰りのアンケート結果から～

6/6㍻切で、児童生徒の登下校時の荷物についてのアンケートを実施しました。お忙しい中、御協力いただきありがとうございました。今号では、その中から、1人1台端末の持ち帰りに関わる部分についての結果を紹介します。

<持ち帰りの頻度について>



持ち帰りの頻度については、本市の対応を踏まえ、以下のように対応しているとの回答がありました。

<小学校>

- 学年に応じて、端末持ち帰りの曜日を定めている。
(特に低中学年は、荷物が多くなってしまいう週末は持ち帰りを避けるなど、週末や長期休業期間前の持ち帰りの荷物が少なくなるようにしている。)
- 低学年については、金曜日と月曜日は荷物が多いため、木曜日に持ち帰り、火曜日に持ってくるようにしている。

<小中学校>

- 家庭学習での課題を明示し、一人一台端末を使用する場合のみ、家庭に持ち帰らせるようにしている。

<その他の工夫点等について>

頻度以外の点では、以下のような工夫をしているとの回答がありました。



- 端末の重さの分を考慮し、国語・算数以外の教科書は学校に置いて帰ることにしている。
 - 端末を持ち帰る際には、落下による故障や破損等を防ぐため、必ずランドセルに入るよう、他の荷物との調整を図っている。
- (※ なお、「学校で使用している1人1台端末と同等の機能を有するパソコンが家庭にある場合は、持ち帰らずに家庭用パソコンを使用することを強く推奨している」という小学校もありました。)

最近、栃木県内の小学生が、ランドセルを引いて運ぶための「さんぼセル」を発案し、報道等で話題になっており、コメントを求められた末松文部科学大臣は、小学生が自発的に考え、行動を起こしたことを賞賛したうえで、「登下校時の荷物の軽減に向け、各学校の工夫をお願いしたい」と発言しています。こうしたことから、「登下校時の荷物が重い」という認識の下、創意工夫した取組が求められているところです。

なお、今回のアンケートにおいても、「学年による荷物の量や体力の違い、学校までの距離等を考慮し、一層の負担軽減を図る必要を感じており、具体策を検討する予定である。」と回答した21校を含め、94校中49校が、今後、荷物持ち帰りのルール等を見直すことを考えているとしています。

端末が加わったことで、軽量化への配慮が求められている登下校時の荷物。今回のアンケートで、当然のことながら、各学校が、児童生徒の負担軽減に向けて様々な工夫をしていることが分かりました。ただし、今号のテーマに矛盾するようですが、端末については、学校で日常的に使用することが基本であり、家庭での使用は日常化を補完するためである、ということは忘れてはいけなないのではないのでしょうか。持ち帰りの際には、端末を使用した家庭での学習を、翌日の指導や、継続的な一貫性のある学力向上に生かすことを考えたいものです。